社会福祉法人●●●●　令和●●年度第●回　評議員会議事録

※議事録作成時、このテキストボックスは削除してください。

　決議の省略の議事録には、①提案書、②同意書を添付するようにしてください。

※議事録作成時、このテキストボックスは削除してください。

○議案の内容については、

①第１号議案のように（提案書別添のとおり）として別添を添付する。

②第２号議案のように議案の内容を詳細に記載する。

　①②のどちらでも構いません。

１　評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

　（１）　第１号議案

　　　　　●●●●●の件（提案書別添のとおり）

　（２）　第２号議案

　　　　　・議題　　　　　定款一部変更の件

　　　　　・議案　　　　　定款第○条を次のように変更する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 変更前の条文 | 変更後の条文 | 理　由 |
|  |  |  |

※議事録作成時、このテキストボックスは削除してください。

注：評議員会開催前に、議案について特別の利害関係を有する場合に法人に申し出る旨の通知を発した場合や、法人の内部規程に特別の利害関係を有する場合の届出義務を定めている場合は、以下の内容について議事録に記録する必要はありません。

下の文章の２行目から３行目に「～評議員全員（特別の利害関係を有する者を除く評議員全員）から書面により～」とありますが、

○特別の利害関係にある評議員がいる場合

　「～~~評議員全員（~~特別の利害関係を有する者を除く評議員全員~~）~~から書面により～」

○特別の利害関係にある評議員がいない場合

　「～評議員全員~~（特別の利害関係を有する者を除く評議員全員）~~から書面により～」

と記載するようにしてください。

２　決議事項を提案した理事の氏名

　　理事長　　●●●●●

３　評議員会の決議があったものとみなされた日

　　令和●●年●●月●●日

４　議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名

　　理事長　●●●●●

５　議決に加わることのできる評議員総数

　　●名

　令和●●年●月●日、理事長●●●●が評議員の全員に対して、上記評議員会の決議の目的である事項（議案）についての提案を行い、当該議案について、評議員全員（特別の利害関係を有する者を除く評議員全員）から書面により同意の意思表示を得たことから、社会福祉法第45条の9第10項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条の規定及び定款●条に基づき、評議員会の決議の省略により当該議案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

　評議員会の決議があったものとみなされた事項を明確にするため、本議事録を作成し、議事録作成者が記名押印する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和●年●月●日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　社会福祉法人●●●●

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　議事録作成者　理事長　●●●●　㊞